2年英語科　学習指導案　　授業者　林多恵子

1　単元の概要

単元名　Four-Frame Story Writing　物語文を書く　（書くこと：ア）

	目標	評価規準	評価資料
知識 技能	・物語の展開をイメージし、Transition Word（ First, Next, Thenなど）を使い、場面と場面をつなぐことができる。 ・必要に応じて、接続詞（when,if,that,because）を用いて表現をすることができる。	・Transition Wordの特徴やきまりに関する事項を理解し、効果的に使って文を書いている。 ・接続詞の特徴やきまり関する事項を理解し、正しく使って文を書いている。	ワークシート
思考 判断 表現	・物語文の4つの展開 （①Opening②Development③Twist④Ending） とそれぞれの特徴を理解することができる。 ・表現したい内容に合った適切な語やフレーズを選び使うことができる。	・物語文の構成を理解し、前の文とのつながりを意識した内容の文を書いている。 ・簡単な語句や文を用いて、4つの展開のそれぞれの場面に相応しい内容の文を書いている。	ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・表現したいことを正確に書くための工夫をすることができる。 ・グループの友だちと積極的にかかわり、より読みやすい文章にするための意見交換やPeer Correction（協働修正）ができる。	・辞書を用いて語を調べたり、教科書を用いて学んだ内容に立ち戻りながら学ぶ姿勢が見られる。 ・グループの友だちと意欲的に話し合う様子が見られる。	（観察） 今回の授業では評価の対象としない

２　単元の展開

単元の流れ　Lesson1（全６時間）

1	GET1新出語句の確認、Dictation、本文理解、文法事項の確認（接続詞when/ifの用法）
2	GET２新出語句の確認、Dictation、本文理解、文法事項の確認（接続詞thatの用法）
3	Use Read 新出語句の確認 “The Tale of Peter Rabbit”を読む
4	“The Tale of Peter Rabbit”翻訳・読み合う活動
5	Writing1　Opinion Writing　物語の感想文を書く
★６	Writing2　Narrative writing　物語文を書く

★単元の最後に行うOutput活動のみを独立させて、帰国生混合クラス用カリキュラム内で授業を行っています。

本時（１／６時）の流れ

本時の目標

・Narrative Writing（物語文）の構成を理解し、簡単な語句や文法を用いて
①Opening②Development③Twist④Endingのそれぞれの場面に応じたストーリーを創作することができる。

1. Greetings（１分）
2. English Description Activity（10分）

   Four-Frame Story Writing
   活動の説明・グループ分け（８分）
3. Group Activity
   物語を考える・Peer Correction（20分）
4. Presentation（10分）
5. Greetings　（１分）

本授業で育てたいグローバル・コンピテンス

この学習課題に取り組む	ことで	な学習者の姿が生まれる
物語の展開を考えて英語で表現をする		・個々が持つ表現の豊かさや多様性に気付き合う ・ひとつのものに対する捉え方が様々であることを知る ・言葉を使って表現をする良さや面白さを知る ・読み手を意識した表現を選ぶ力を身につける

焦点化して育みたいグローバル・コンピテンス

定義	【グローバルな問題の発見・検討】　地域、世界、異文化間の問題を検討し、 【異文化・他者理解】　他者の視点と世界観を理解し認め、 【異文化間交流】　異なる文化を持つ人々とオープンで適切で効果的な関わりを持ち 【企画・行動】　共同体の幸福（ウェルビーイング）と持続可能な開発のために行動する能力			
要素	知識	スキル	価値観	態度
	グローバルな問題や、 異文化理解に関する知識。 1. 地理的知識 2. 歴史的知識 3. 社会・文化的知識 4. 経済的知識	異文化間コミュニケーション や、グローバルな問題の解決、 批判的思考などのスキル 1. 異文化間コミュニケーションスキル 2. 問題解決スキル 3. 批判的思考スキル	異なる文化を持つ人々との 協力と対話を促進する価値観 1. 公平性と公正性 2. 持続可能性 3. 平和（対話・協力・共存）	異文化、他者への理解と尊重 を深める積極的な態度 1. 開放的で柔軟な態度 2. 他者を尊重する態度 3. 社会的・環境的責任を果たす責任感

英語科研究授業での、創造的活動×創造的思考×教科の見方・考え方

①創造的活動
自分が書いた英語の文が、思いもよらない展開になる面白さを楽しむ Writing活動

→既習語句・文法事項を用いて簡単な1～2文の英語を書くという条件の下、帰国生、一般生、どのようなレベルの学習者も活動を楽しめるような工夫を行った。また、活動を通して、一人で創作をするWriting活動よりも、多様な表現や発想があるということに気づき合うことができるようにした。

②創造的思考
友だちが書いたストーリーの続きを考える活動

→Four-Frame Story Writingの形を用いて、4つの場面の特徴を考えながら書く活動を行う。単に文を考えて書く作業ではなく、前の文とのつながりや後に文が続いていくというような全体像を意識して書くことで、思考力を伴った創造的なWriting活動にしたい。

③英語科による見方・考え方
創造的な活動を通して、Target Word（Phrase）が確かに身につく活動

→英語科では、創造的な活動が単なる「楽しい活動」に留まらないよう、言語習得が促される活動を常に意識したい。本時では、Transition Word を使って場面と場面を自然につなぐことを目的とする。Opinion Writingを行なった際の既習表現である、First,Next,Then, Finally以外にも、英語の物語文に見られる特徴的な表現Once upon a time, They lived happily ever after…などにも触れ、表現の幅を広げさせたい。

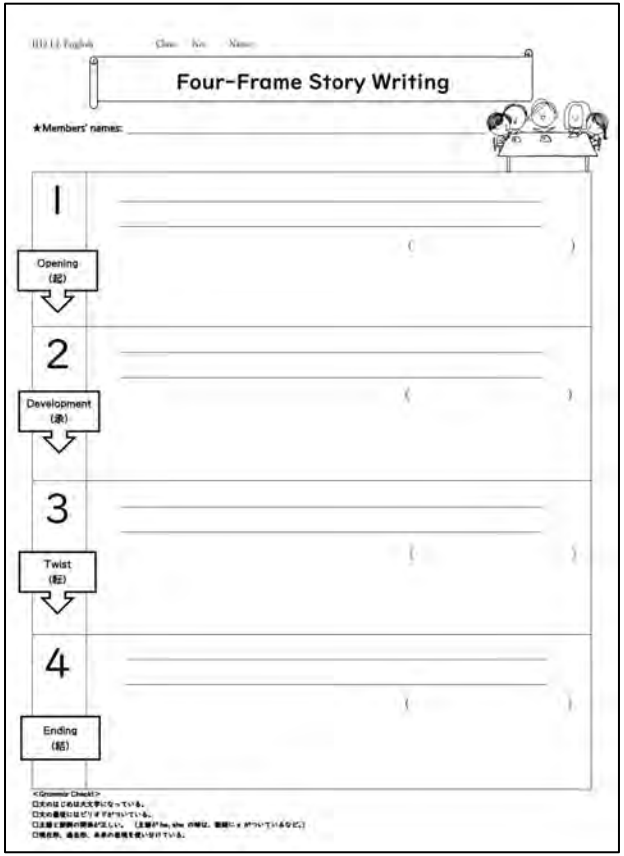
帰国生・一般生混合クラス それぞれの目標

＜一般生＞
・既習語句、単語を駆使して言いたいことをできるだけ正確に伝えること。
・英語を楽しみながら使うこと。
・豊かな表現に触れること。

英語の授業を通した
生徒同士の学び合い・関わり合い

＜帰国生＞
・文法を正しく使い、伝わる英語を心がけること。
・滞在国の言語、文化の知識を生かすこと。
・英語を使って知識を得ることや創作することを楽しむこと。

Four-Frame Story Writing　教材



①生徒が3～4人で一つのグループを作る。
②1frameずつストーリーを書き次の人に回していく。
③Grammar Check
④完成したストーリーを読み合う。

＜Transition Words＞

- Once upon a time,(むかしむかし、)
- Moments later,(少ししたあと、)
- One day, (ある日のこと、)
- Soon,(すぐに、)
- First, (まずはじめに、)
- As a result, (その結果、)
- Next, (次に、)
- But, (しかし、)
- Then, (そして、)
- Finally, (ついに、最後に、)
- ○○lived happily ever after. (○○はしあわせに暮らしましたとさ。)

＜Conjunctions＞

- When～, (～したとき、)
- ○○ thought that ～ ○○は～だと思った
- If～, (もし～ならば、)
- ○○ was (happy) because～ ～なので、○○は嬉しかった

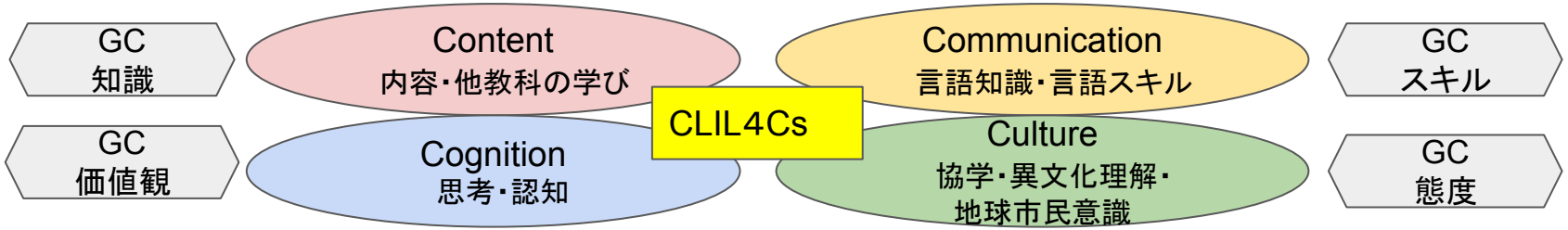
CLIL×Global Competence（GC)

CLIL（Content and Language Integrated Learning 内容言語統合型学習）

言語教育と他教科などの内容教育とを統合した形で行う教育方法。教科内容を題材にしてさまざまな言語活動と指導を行い、外国語の4技能を向上させていく。

CLILでは、学習（Learning）と使用（Using）を別のものとして捉えるのではなく、相互補助的で相乗効果の期待できる関係である。

和泉伸一（2021）『フォーカス・オン・フォームと CLILの英語授業』アルク



★CLILとGCの理念には共通点が見られる

→CLILの理論に基づいた英語の授業を実践することで GC が育成できるのではないか

→帰国生、一般生が混在する学級で効果的な指導法であると考えられる

CLIL×GCに基づいたWriting指導の提案　“Writing is fun!” を目指して

英語学習者にとって最も難しく、学習に取り組むことを最も敬遠する活動としてWritingが挙げられる。生徒がWritingを苦手とする要因として、以下の点が考えられる。（赤は考え得る解決法、青はCLIL×GCとの関連）

①書く目的が見出せない

→相手（読み手）がいる Writing活動にすること。（CLIL：協学　GC:態度）

②何を書けば良いか分からない

→他教科で学んだ知識を活用、発展させることができるような　topicの提示　（CLIL:他教科の学び　GC:知識）

③書いたものを添削してもらう機会が少ない

→Peer-Correction（協働添削）などを通した学び合い　（CLIL：言語知識　GC：スキル）

④Readingを経てWritingをさせる入試出題傾向による苦手意識

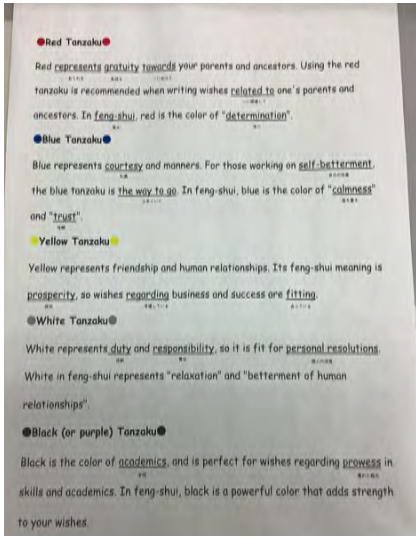
→時事問題、環境問題などを題材とした　Readingから自分の考えを書くような活動、意見の共有　（CLIL：思考　GC：価値観）

★CLIL×GCに基づいたWriting指導を行うことで、英語で書くことに対する学習者のポジティブな姿勢を育成することが期待できる

CLIL（4Cs）を取り入れたWritingの実践例①

（1）Reading about Tanabata

七夕の歴史や文化に関する英語の文章を 読み、七夕に関する知識を得た。今回は、短冊の色とそれぞれが持つ意味についてより詳しく読み、その後実際に願い事を 書かせる活動につなげた。その際に自分の願い事は何色の短冊に書くのが良いかを考えさせ選ぶことで Readingから得た知識をWritingの際に活用させた。（実際にその色の短冊に書かせたらもっと良かった活動。）



●Red Tanzaku●

Red represents gratuity towards your parents and ancestors. Using the red tanzaku is recommended when writing wishes related to one's parents and ancestors. In feng-shui, red is the color of "determination".

●Blue Tanzaku●

Blue represents courtesy and manners. For those working on self-betterment, the blue tanzaku is the way to go. In feng-shui, blue is the color of "calmness" and "trust".

●Yellow Tanzaku●

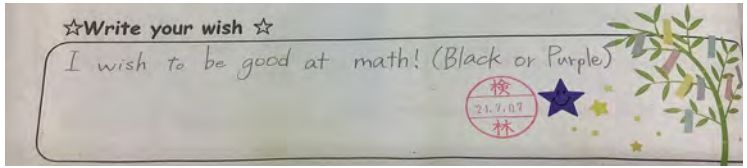
Yellow represents friendship and human relationships. Its feng-shui meaning is prosperity, so wishes regarding business and success are fitting.

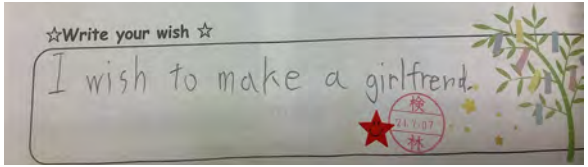
●White Tanzaku●

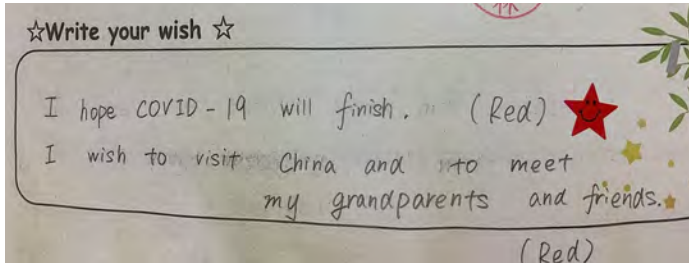
White represents duty and responsibility, so it is fit for personal resolutions. White in feng-shui represents "relaxation" and "betterment of human relationships".

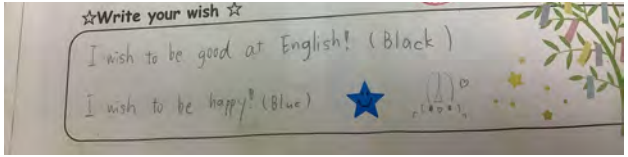
●Black (or purple) Tanzaku●

Black is the color of academics, and is perfect for wishes regarding prowess in skills and academics. In feng-shui, black is a powerful color that adds strength to your wishes.





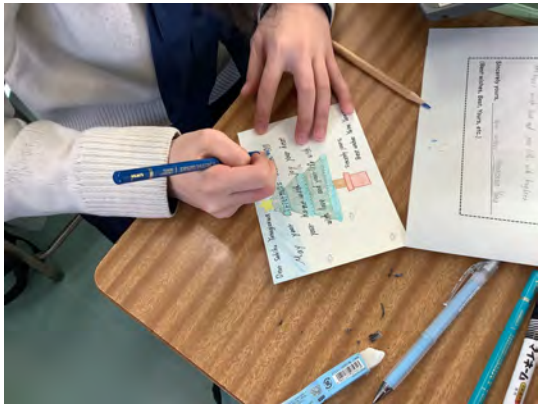


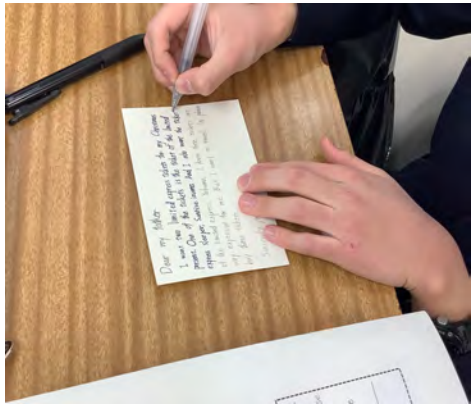


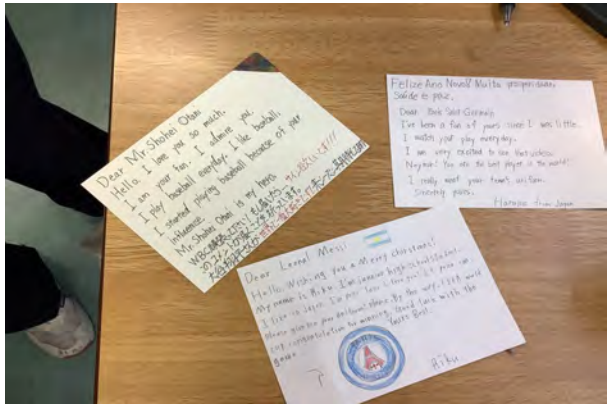
CLIL（4Cs）を取り入れたWritingの実践例②

（2）Greeting Card Writing

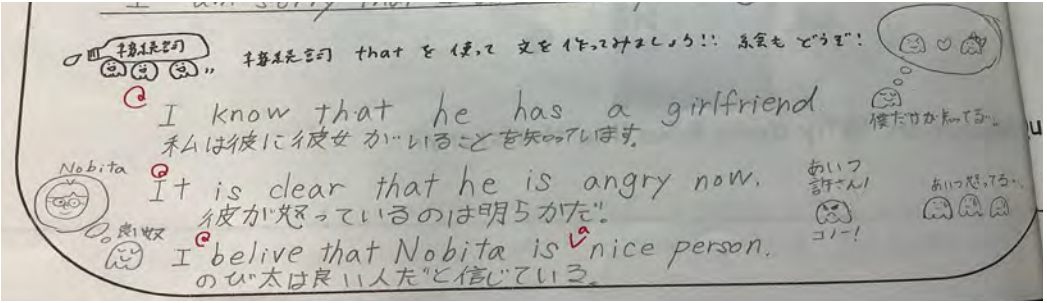
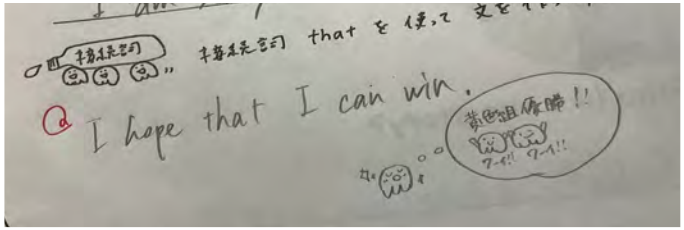
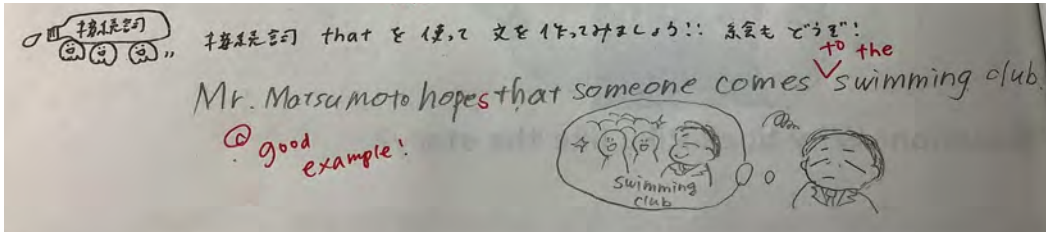
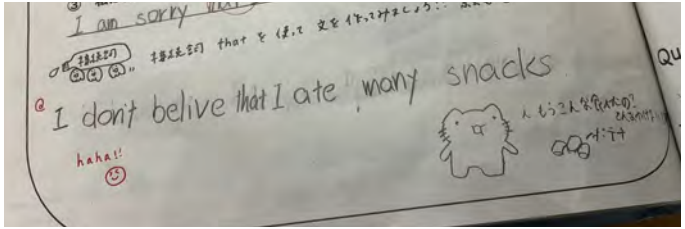
クリスマスにメッセージカードを英語で書き、実際に相手に送る Writing活動。プリントに書かせるよりもはるかにRealityを感じて意欲的に取り組んだ。生徒のうちの一人はバイデンさんに宛てて書き、実際にホワイトハウスに送った。大好きなサッカー選手に宛てて書いた生徒も見られた。帰国生は、滞在国の友だちに書いていた。







CLIL（4Cs）を取り入れたWritingの実践例③

（3）文法の知識を活用した文の作成　（CLILとあまり関係がないです。）

文法問題をある程度解いた後、自分だったらどんな文を書くか･･･というミニWriting活動をさせた。自分や身近な人物を主語にして、ユニークな文をたくさん書いた。